TOTO

2015年6月15日

ESG 活動

環境省が提案する新しい水との向き合い方「Water Style」
TOTO の「Water Style」は「TOTO グローバル環境ビジョン」
～水と地球の、あしたのために。～

TOTO 株式会社（本社：福岡県北九州市、社長：喜多村 円）は、**環境省が提案する、日本の優れた水循環を官民が連携して支えていく施策、「JAPAN Water Style」に賛同**いたします。**TOTO の「Water Style」は、“水と地球の、あしたのために。”をキャッチフレーズに推進している、「TOTO グローバル環境ビジョン」の実現**です。

Water Style × TOTO

「Water Style」について

「Water Stlye」とは、水に対する正しい知識のもと、より大切に、そしてより楽しみながら、生活の中に水を積極的に取り入れていく、新しい水との向き合い方です。

環境省では「水循環基本法」（2014 年 7 月施行）に基づき、健全な水循環の維持又は回復を目的とした取組みの促進等を推進する官民連携プロジェクト、「ウォータープロジェクト」を推進しています。同プロジェクトの施策として、日本の優れた水循環を「～守り育て、贈り使い、大切に還す～」の 3 つのキーワードで表し、この水循環を官民が連携して支えていく「JAPAN Water Style」プロジェクトが、2015 年 6 月よりスタートしました。「JAPAN Water Style」に賛同する民間企業や地方公共団体は、それぞれの水に関する商品やサービス等を通じた「Water Style」を提案していきます。

環境省「Water Style」ウェブサイト https://www.eeel.go.jp/water-project/waterstyle/

TOTO の「Water Style」について

1917 年の創立以来、「水」に大きく関わる事業を展開してきた TOTO は、「JAPAN Water Style」の主旨に賛同いたします。TOTO の「Water Style」は、これまでの環境目標に新たに「水資源の保全（水を大切に）」という軸を加え、2014 年に策定した「TOTO グローバル環境ビジョン」の実現です。

「TOTO グローバル環境ビジョン」について

TOTO グループは、各国各地域の環境問題や社会課題と向き合いながら、これまでの活動をさらにグローバルに進化させるため、2014 年に「TOTO グローバル環境ビジョン」を策定しました。グローバルで 6 つのテーマ――水を大切に／温暖化を防ぐ／資源を大切に／地球を汚さない／生物多様性を守る／地域社会のために――に取り組み、グループ一丸となって事業を通して地球環境に貢献していきます。

「Water Style」に深く関連したテーマである「水を大切に」では、節水技術を進化させるとともに、グローバルでの節水商品普及を推進し、水環境の保全に努めてまいります。

この「TOTO グローバル環境ビジョン」実現に向け、グローバル共通で取り組む 2017 年度までの目標「グローバル環境目標」を設定しています。水に大きく関わってきた企業として「水環境の保全（水を大切に）」を軸に、6 つのテーマそれぞれで目指す目標を明確に定め、取り組んでいます。

2017 年度までの TOTO グループ「グローバル環境目標」

水を大切に
- **商品使用時水消費量 13 億 m^3 削減**
  1990 年度比　性能向上分
- **節水便器出荷率**（4.8L 以下）
  国内 70%　海外 80%

温暖化を防ぐ
- **商品使用時 CO_2 排出量 563 万 t 削減**
  1990 年度比　性能向上分
- **事務所からの CO_2 排出総量 35.2 万 t**
  施策による CO_2 削減量 2.9 万 t（2013 年度比）

資源を大切に
- **ゼロエミッションを推進する**
  製造事業所でのリサイクル率
  国内 99%　海外 90%

地球を汚さない
- **有害化学物質の発生抑制**
  （国内）環境法令違反 0 件

生物多様性を守る
- **生物多様性に配慮した原材料の使用**
  （国内）商品における合法材・再生材の使用率 100%

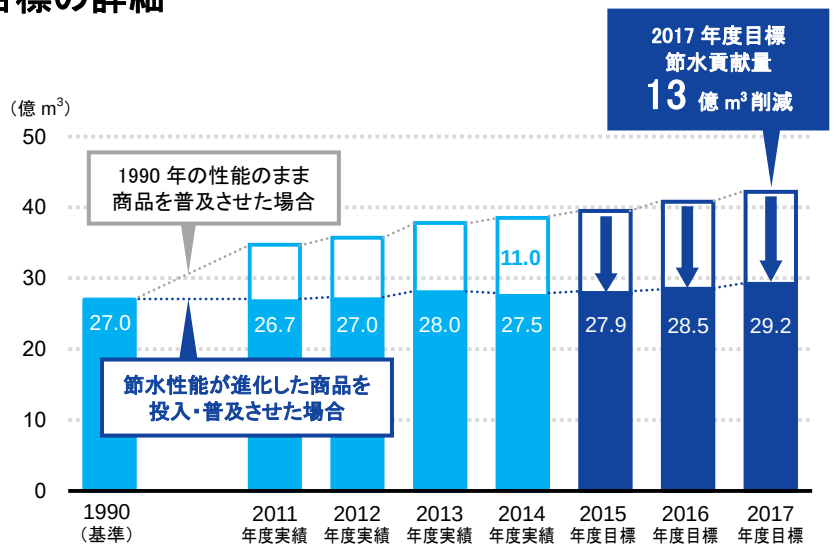
地域社会のために
- **各国・各地域のステークホルダーと協働して、環境に根ざした社会的課題・地域課題を解決する**
  グローバルでのグリーンボランティア参加人数 55,000 人

「水を大切に」に関する数値目標の詳細

●商品使用時水消費量の削減

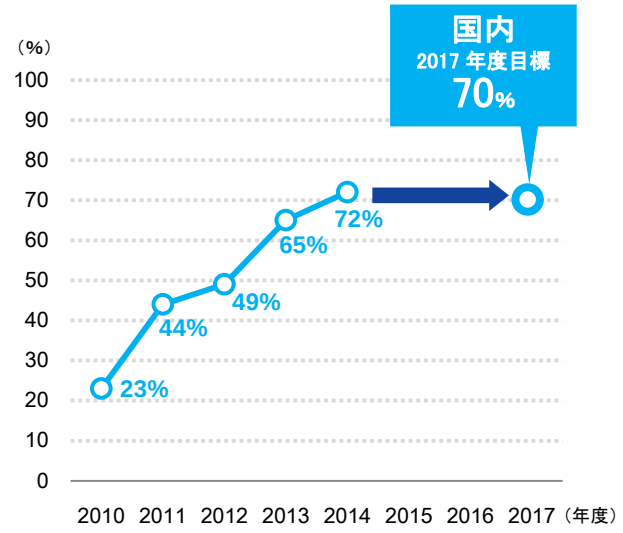
節水商品をグローバルに投入することで、1990 年当時の性能の商品を普及し続けた場合に対し、商品使用時の水消費量を 2017 年度までに 13 億 m^3 削減することを目標に掲げて取り組んでいます。2014 年度は目標 10.8 億 m^3 削減に対し、11 億 m^3 削減を実現しました。

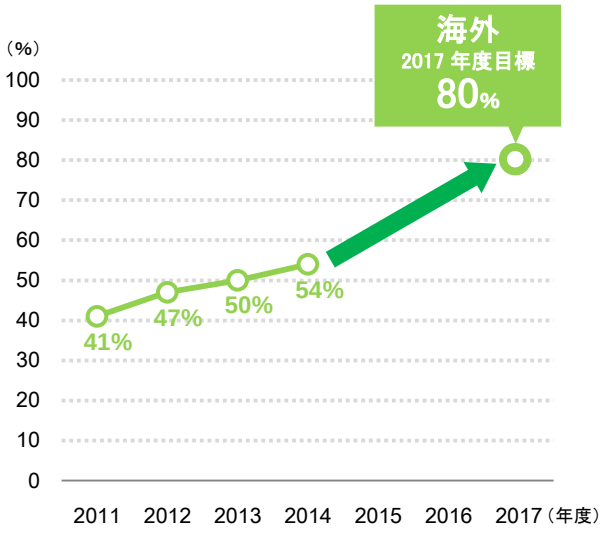
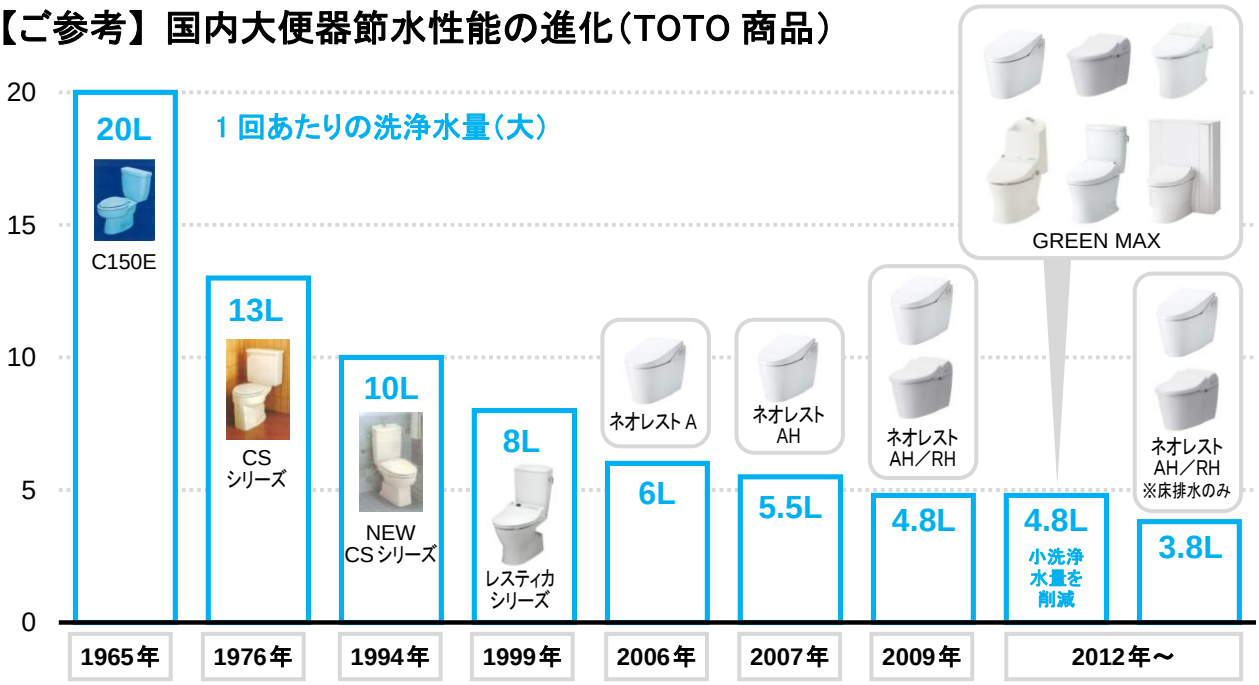
※商品使用時の水総量は、その年に出荷したすべての商品が使用される期間において消費する水量の総合計です（一部、使用用途の不明な商品の水消費量は除く）。



●節水便器出荷比率

節水便器（4.8L 以下）の出荷比率を、2017 年度に国内 70%、海外 80%にすることを目標としています。
2014 年度は、国内 72%、海外 54%と順調に推移しています。





【ご参考】国内大便器節水性能の進化（TOTO 商品）